



広 報

海・山・温泉 人が輝く 夢と温もりの郷
- 安らぎと憩いの空間 新温泉町 -

しんおんせん



住民の手づくりによる「正法庵とんぼの里公園」が完成（平成19年6月16日）

目 次

- 町長ごあいさつ..... 1 ページ
- まちの将来目標..... 2 ページ
- まちづくりの基本方向 12 ページ

新温泉町広報
総合計画概要版
-平成19年6月-

ごあいさつ

わが国は、少子高齢化により、人口減少社会へ移行するなど時代の大きな転換期を迎え、これまでの成長を前提とした経済、社会システムを抜本的に見直すことが求められています。また、地方分権の推進という大きな流れのなかで、地域の特色や個性を生かして、いかに自立したまちをつくっていくか、地方自治体にその真価が問われています。

私たちのまちは、自然公園指定区域が 46.3%を占める海と山と温泉を包含する豊かな多自然環境を有し、貴重な自然遺産を数多く保有しています。ユネスコによる世界ジオパーク（地質公園）の認証をめざす山陰海岸をはじめ貴重な自然遺産を再確認し、みがき、持続可能なまちづくりを進めていくことが求められています。こうした時代の変化やまちの課題に対応し、住民が心の豊かさを実感でき、将来に向けて夢を持ち続けることのできるまちづくりを進めるため、「第1次新温泉町総合計画」を策定いたしました。

総合計画は、平成 17 年 10 月の浜坂町、温泉町合併後の本町が目指すべき姿とその実現に向けた取り組みの方向を示すもので、本町のまちづくりの基本となる計画です。今後は、将来像である「海・山・温泉 人が輝く 夢と温もりの郷 ー安らぎと憩いの空間 新温泉町ー」の実現に向けて、本町の地域特性を生かしながら、次代を担う子どもたちが本町に生まれ育ったことを誇りに思うことのできるまちづくりを目指してまいります。

また、計画の推進にあたっては、「参画と協働」を合言葉に、住民・事業所・行政がお互いの信頼関係に基づいたパートナーシップのもとで、住民の視点に立ったまちづくりを進めてまいります。

住民の皆さまには、この冊子をまちづくりの読本として活用していただき、今まで以上に町行政への積極的なご参加とご支援をお願い申し上げます。

新温泉町長 馬 場 雅 人

1 まちの将来目標

(1) 新時代における、私たちのまちの果たすべき使命・役割の発信

ア 私たちのまちの果たすべき使命・役割の発信

現代は、少子高齢化や高度情報化、環境問題などが国際的、地球的規模で進展し、その変化も著しく、先行きの見えにくい時代です。このような厳しく複雑で難しい時代だからこそ、私たちのまちにおいて、今まで培い生き抜いてきた経験と知恵を結集し、さらに磨き上げ、新たな戦略を立てながら、夢と希望、自信と誇りをもって時代の最前線に自ら立ち向かっていかなければなりません。したがって、全世界や日本全体に向かって果たせる使命を自覚し、新時代の先導役として果たすべきまちづくりを進めます。

私たちのまちには、かつてユーラシア大陸と地続きであった大地が悠久の時間をかけて日本海を産み出し、“列島誕生のダイナミクス”を物語る壮大な地質や地形の海岸、自噴で日本有数の温度や量を誇る温泉など、貴重な自然遺産が数多く保有されています。それらは大地がなす一級の産物であり、自然の摂理の中で人類の繁栄があることを認識しなければなりません。この貴重な自然遺産を再確認し、人と自然との共生を基盤に、自然と人間のかかわり（※注）をテーマとして持続可能なまちづくりのために、私たち住民と行政の協働により、周辺や関連する自治体とも手を携えた取り組みを進めます。



浜坂海岸海遊まつり「地曳き網体験」

（※注）自然と人間のかかわり

ユネスコ地球科学部門のプログラムである「ジオパーク」の説明である、“自然と人間のかかわり”をテーマとした地質、岩石、地形の公園から引用しています。

イ 本町の果たすべき広域的な役割の発信

本町は、国内、また近畿圏等において、次の重要な広域的役割を担っており、今後もさらに明確にその役割を果たしていきます。

(ア) 自然遺産の再評価推進や歴史ある学術文化を保護・継承し、自然との共生を展開するまち

⇒大自然の発信まち

国立、国定、県立自然公園が連なり町域の46.3%が自然公園指定区域である環境のなかで、自然とのふれあい、共生を他の自治体に先駆けて実践する貴重な役割を担っています。特に、日本海の波蝕海岸風景を代表する屈指の景勝地でもある本町の海岸一帯は、東は天橋立から西は鳥取砂丘までの山陰海岸国立公園のほぼ中央に位置し、地質学や景観上世界的な評価を得ており、世界自然遺産の登録候補地に選ばれました。今後、ユネスコによる世界ジオパーク（地質公園）としての認証推進の役割を担っていきます。さらに、わが国を代表する著名な歌人や登山家などの作品、資料が数多く保存、収蔵され、貴重な学術文化を継承する役割を担っていきます。

(イ) 近畿と山陰の日本海連携拠点のまち

⇒日本海の玄関・ 連携まち

近畿と山陰の結節点であり、歴史、風土、文化及び産業が相互に密接に関連するなかで、近畿と山陰の連携を促進する拠点地域でもあります。また、鳥取市と豊岡市の間にも位置し、地域高規格道路鳥取豊岡宮津自動車道などの交流基盤の強化によって広域的な地域連携軸の形成の重要な役割を担っています。

さらに、環境負荷が低く、高齢者や児童、生徒などの大量輸送に優れる鉄道利用では、京阪神地域へ豊岡方面と鳥取方面の2ルートでのアクセスが可能であり、災害時などにおける移動の優位性も併せもった地域です。



東浜居組道路「七坂トンネル」貫通式

(ウ) 海、山、温泉を活用した健康保養・集客のまち

⇒健康長寿の実現まち



湯村温泉「ふれあいの湯（足湯）」

高原から日本海に至る雄大な自然環境を有し、年間約 130 万人の観光客や多くの交流人とのふれあいが展開されています。特に、湯村温泉、浜坂温泉、二日市温泉及び七釜温泉など高温で優れた泉質と湧出量を持つ温泉郷が連なっています。また、夏は海水浴、冬はスキーと多彩な観光、レクリエーションの一大拠点となり、もてなしの心をもって年間を通して域内外の人々の健康、保養活動が展開され、“健康づくりの里”として健康の増進と生きがいを育む役割も担っています。

(エ) 豊かな自然環境に育まれた美しいふるさとづくりのまち

⇒安心な新生活の提案まち

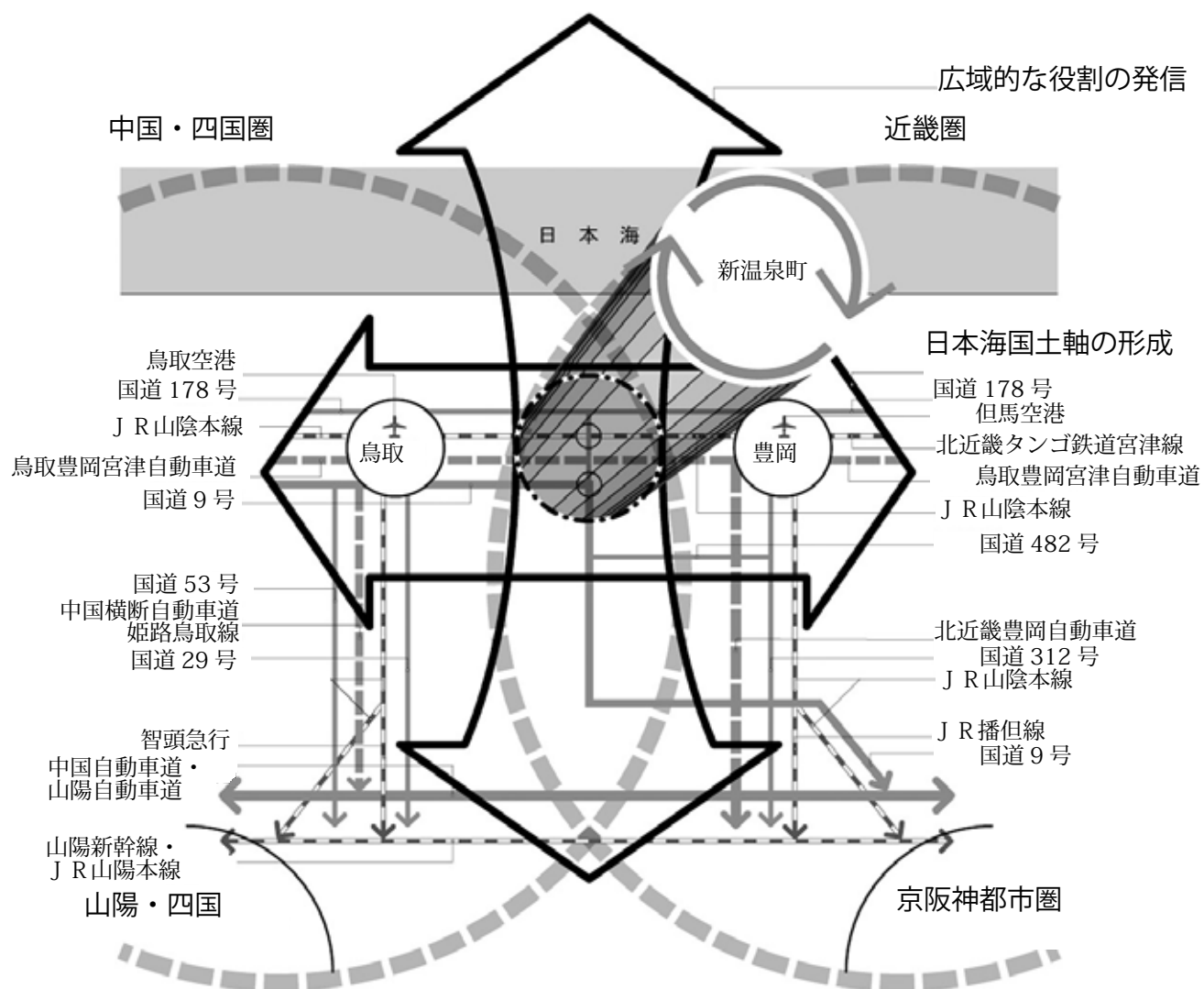
内陸部は扇ノ山をはじめ 1,000 m級の高原地域、平野部は日本海に面する広大なエリアで、自然との調和が図られた農山漁村が共存する多自然型居住地域であり、ブナ林や棚田、滝などの自然度の高い環境を生かし、災害にも強く森林浴などでもできる美しいふるさとづくりの先導的な役割を担っています。

(オ) 魅力ある食文化を育み、安全で良質な食糧を生産・供給するまち

⇒自然美味の提供まち

日本海沿岸有数の漁獲量を誇る漁港を有し、松葉ガニ、ホタルイカ、スルメイカ、ハタハタなどわが国を代表する海の幸や但馬牛などのブランドをはじめ、高原野菜、二十世紀梨などの山の幸、特産品の加工、水産加工などの豊かな食文化を育むとともに、但馬杜氏などの技術力を生かし、安全で多種多彩な食糧の生産供給地域としての役割を担っています。

■広域的な位置図



(2) まちづくりの理念とまちの将来像

ア まちづくりの理念

(ア) 自立と協働の住民主体のまちづくり

- ①行政や住民の意識改革により、経済的な「自立」と共に主体的にまちづくりに参画する「自律性」を持った人づくりと、その人が主役となるまちづくりを目指します。
- ②それぞれの主体の役割分担を明確にし、相互の認識と理解の上に立って、共通の目的を持った「協働」のまちづくりを進めます。

(イ) 自然と歴史・文化を生かした個性あるまちづくり

- ①自然と共生・調和し、“自然と人間のかかわり”を大切にした持続可能な美しいまちづくりを目指します。
- ②歴史・文化財を大切にし、地域の持つ文化力を高め、元気を発信する個性あるまちづくりを進めます。

(ウ) 子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせるまちづくり

- ①子どもや高齢者、障害者、外国人など誰もが自立して社会参加でき、住みやすいまちづくりを進めます。
- ②人権を尊重し、こころが通い合う地域のコミュニティを生かし、共に支え合うまちづくりを進めます。

(エ) 「世代間」「産業間」「地域間」「都市」と連携、交流するまちづくり

- ①世代を超え、男女共同参画により地域の一体感を醸成すると共に、近隣やより広域的な地域間の連携・交流を促進し、地域力を高めるまちづくりを進めます。
- ②それぞれの産業の活性化支援や異業種間の連携・交流を推進し、新たな付加価値を生み出す産業の育成を図ると共に、雇用の創出に努めます。

イ まちの将来像

「海・山・温泉 人が輝く 夢と温もりの郷」

— 安らぎと憩いの空間 新温泉町 —

本町は、鳥取市や豊岡市に近接すると共に山陰海岸国立公園、温泉、水産物、但馬牛、酒造りなどの世界に誇れる自然、歴史、文化、先人・技など多種多様な地域資源を持っています。そこには誇るべき日本の原風景があり、これらをさらにみがき、高めながら、発展していくまちの姿として、本町の将来像を「海・山・温泉 人が輝く 夢と温もりの郷」、サブテーマを「安らぎと憩いの空間 新温泉町」と設定します。

また、隣接する県庁所在都市などの利便性を活用できる立地条件をはじめ、密度の高い資源や機能を有機的に結びつけ、人と人、地域と地域、産業と暮らしのつながりを深めると共に、高齢社会における生きがいや健康づくりなどの安全・安心に関するテーマを中心に、小規模自治体だからこそ実現できるきめ細かさを生かして対応方策を提言し、21世紀を先導する“日本海の情報発信まち”を目指します。



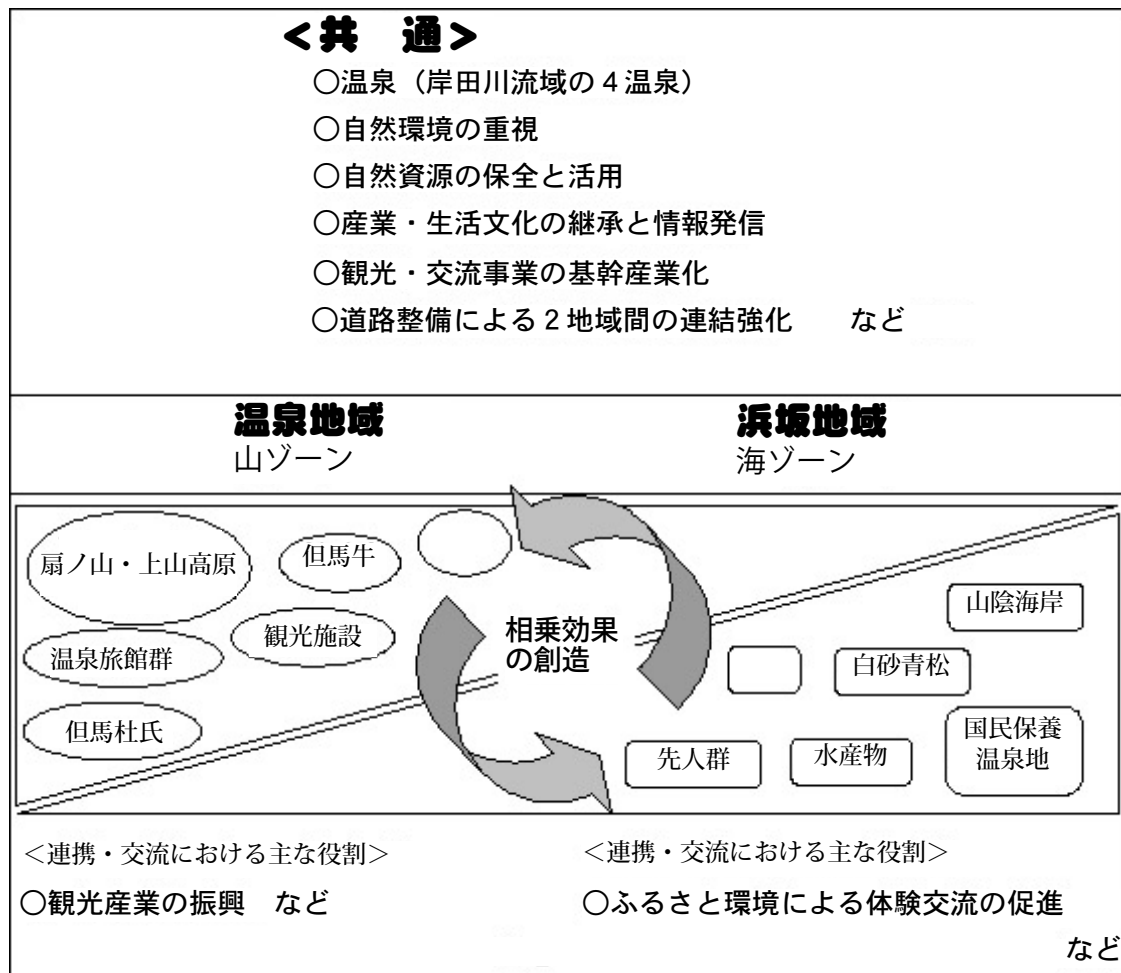
あじはら小径（こみち）

ウ まちの将来像を実現するための進め方

まちづくりのあらゆる場面、行政分野やプロセスにおいて、住民と行政は、連携・協働し、手を携えて努力を続ける「参画と協働」の取り組みを進めます。

また、住民の行政施策、事業への参画と協働に加え、パートナーとして、特に住民が自ら地域づくり活動に行政施策、事業を活用する仕組みづくりや、支援施策の推進を図ります。

■ 地域資源の特性からみたまちの連携イメージ



（３）将来の人口

○少子高齢化の中で、わが国の人口は減少に転じています。このような状況の中で、平成 17 年国勢調査による新温泉町の人口は、17,467 人となり、平成 12 年国勢調査（18,601 人）と比較して、1,134 人減少しています。近年の出産や転入転出などの状況が今後も続くとした場合、10 年後の平成 28（2016）年の人口は、16,000 人を下回ることが推測されます。

○今後は、子育てをはじめ教育や産業などあらゆる分野で、若年層や団塊の世代の受入等対策を講じ、人口の減少を抑えると共に、年齢構成の適正化に努め、17,000 人を上回ることを目標とします。

(4) まちの地域構造

本町の土地利用及び都市構造を、点、線、面の視点から、核（都市機能の点的な集積）、軸（ある一定の幅をもって束ねられた都市機能の線的な集積）、ゾーン（土地利用の面的な広がり、まとまり）で設定します。

ア 核

①中心核（ふるさと核）

役場、総合支所周辺を中心核（ふるさと核）として位置づけ、地域サービスの機能の充実を図り、各地域の歴史など、特色を生かした魅力づくりを進めます。

○海の資源と先人、文化、国民保養温泉地を生かした健康都市の創造拠点

（浜坂地域）

○海、山、温泉の魅力を融合した観光交流の推進拠点

（温泉地域）

②地域核

地域コミュニティのまとまりを考慮した日常生活圏を地域核として位置づけ、生活サービス機能の充実を図ります。

イ 広域軸・都市軸

①山陰海岸連携交流軸

日本海国土軸形成を担う町の海岸地域の東西広域軸で、山陰海岸を環境形成軸、ＪＲ山陰本線、国道 178 号及び鳥取豊岡宮津自動車道を広域交通軸と位置づけ、隣接地域との都市的機能、交流機能の連携及び交流の強化を図ります。

②山陰内陸連携交流軸

日本海国土軸形成を担う町の内陸地域の東西の広域軸で、国道 9 号を広域交通軸と位置づけ、隣接地域との都市的機能、交流機能の連携及び交流の強化を図ります。



ＪＲ浜坂駅

③岸田川ふるさと核連携交流軸

2つの中心核（ふるさと核）を結ぶ岸田川中・下流地域の都市軸で、主要地方道浜坂井土線を交通軸と位置づけ、町内のシンボル軸となる連携、交流の強化を図ります。

ウ ゾーン

①行政・賑わい（D I D地区）ゾーン

浜坂中心市街地のゾーンで、今後、人口集中（D I D）地区形成による有効活用を目指して町の玄関機能や行政、商業機能などの都市的機能の整備充実を図ります。

②観光ふれあいゾーン

湯村温泉街とその周辺の国道9号線を中心としたゾーンで、宿泊機能を中心とした観光、交流機能の整備充実を図ります。

③海岸ゾーン

山陰海岸の沿岸ゾーンで、海、河川、山地など自然との共生を考慮した漁業、農漁村集落、観光・海洋レクリエーション、さらに日本海形成のシンボルの機能を有した地域としての整備充実を図ります。

④森ゾーン

岸田川中流の東西に展開する山林ゾーンで、森林などの自然との共生を考慮した農業、農村集落の機能を有した地域の整備充実を図ります。

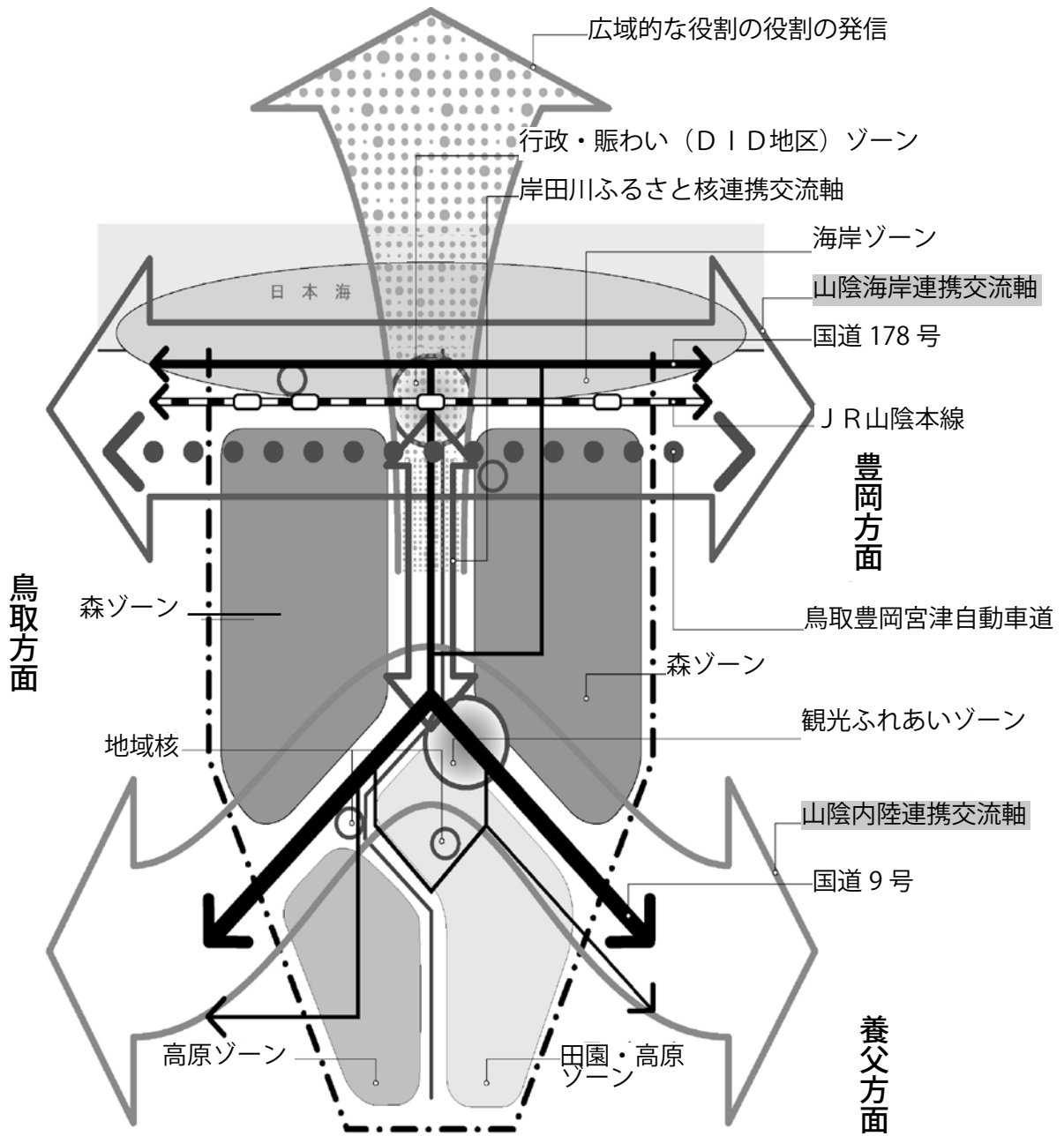
⑤田園・高原ゾーン

町の南東部に展開する田園・高原ゾーンで、自然景観の保全などの自然との共生を考慮した農業、観光交流、農村集落の機能を有した地域の整備充実を図ります。

⑥高原ゾーン

町の南西部に展開する高原ゾーンで、貴重な自然との共生を考慮した参画と協働、交流についての全県的なモデル地域としての整備充実を図ります。

■地域構造図



2 まちづくりの基本方向————

(1) 人と人との豊かな関係づくり

- ①「まちづくりは人づくり」の理念のもとに、住民が能動的にまちづくりに参加・参画する意識づくりに取り組み、行政のみならず住民や事業者も自らの役割を十分に理解し、相互の協力により、人が輝くまちづくりを進めます。
- ②住民が参画するまちづくりを目指し、情報公開などによる情報の共有化などを進めます。また、人材育成の団体の支援などにより、多様な住民ニーズへの対応やまちづくりへの意識の高揚など、住民同士はもとより、自治会、地域づくり団体、NPO、ボランティアなどと行政が力を合わせる場づくりなどにより、住民の活動の場を広げます。
- ③「住民が主人公」を基本に、行財政改革を積極的に推進し、最少の経費で最大の効果を生む効率的な事業の執行に取り組みます。また、行政の透明性の拡大や説明責任を果たすなど住民から信頼される行財政運営を進めます。
- ④これまでの地域コミュニティの充実やそれを生かした仕組みづくりと共に、地域全体が魅力あるまちづくりを推進するため、町内をはじめ但馬地域や鳥取県東部地域などと、より広域的な連携、交流を進め、地域の活性化を図ります。
- ⑤従来からの人口定住施策の推進に加え、今後は、町出身者や地域の魅力にひかれ、さまざまな関わりをもつ来訪者などの交流人口を増やし、都市と農山漁村の相互補完を進め、それぞれの役割と魅力を互いに享受し合うなかで、まちの魅力の再発見、地域への誇りや愛着の醸成、地場産業の振興などを進めます。
- ⑥環日本海をはじめグローバルな視点での国際交流を進めるために、豊かな自然や歴史文化、多彩な農林水産業など恵まれた条件を生かし、多地域、多分野にわたる交流をより一層促進できるよう体制の整備充実に努めます。

(2) 安心な暮らしづくり

- ①台風や地震、雪などに対応した一人ひとりの防災意識の高揚を基本に、自主防災組織の再編、活用を進めます。
- ②まち全域に対応した防災機能の強化、消防救急体制の充実、施設、機器、資材の整備、情報ネットワークの拡充、各種訓練活動の促進に努めます。また、生活の安全を確保するため、交通安全対策や防犯対策を進めます。
- ③人口減少と高齢化の両面が同時進行するなかで、子どもを生み育てやすい環境づくりをはじめ、健やかでこころ豊かに生活できる活力ある社会を実現するため、子どもから高齢者まですべての住民が、地域で支え合いながら共に生きることができるよう、保健・医療・福祉・教育機関の一体的な基盤づくりを進めます。
- ④“健康づくりの里”のまちづくりを進めるため、健康診断や健康教室、介護予防事業の推進など効果的な健康づくり対策を進め、海と山と温泉の恵まれた自然環境、スポーツ施設等を幅広く活用するなど住民総参加の取り組みの充実に努めます。
- ⑤地域医療の拠点としての公立浜坂病院の役割を明確にすると共に、救急医療を含めた近隣の病院や各診療所などの医療機関との連携の強化を図り、医療体制の充実に努めます。
- ⑥地域福祉を育むまちづくりを目指し、住民参加を基本に、ユニバーサルデザインの推進や関連する活動の支援などにより、福祉教育も含めた地域福祉活動を進めます。



入浴サービス

- ⑦生活保護、児童福祉、母子・寡婦福祉、老人福祉、身体障害者福祉及び知的障害者福祉法などに定める援護、育成または更生の措置や支援に関し、社会福祉協議会をはじめとした地域内の連携強化による各種福祉施策の総合的、一体的な展開を進めます。
- ⑧「地域の子どもは地域で守り育てる」という理念で、地域ぐるみによる子育ての支援を進めます。また、保育サービスの充実などにより、子育てと社会参加の両立を支援します。さらに、子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます。
- ⑨高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりを目指し、社会参加の促進を図ると共に、在宅生活の支援などのサービスの充実に努めます。
- ⑩障害者一人ひとりが持てる力を発揮でき、自らが健やかさを実感できるように、生活の自立支援と社会参加の促進を図ると共に、在宅サービスをはじめ障害者福祉サービスの充実に努めます。
- ⑪住民と民間団体、行政が連携し、総合的な地域福祉対策やボランティア活動に積極的に取り組み、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、共存・共生の地域社会づくりを進めます。



消防団出初式一斉放水



乳幼児健診

(3) ころ豊かな人づくり

- ①あらゆる人権課題の解消に向けた人権教育・啓発を推進し、すべての人の人権が尊重され、住民がころ豊かに暮らせるまちづくりに努めます。
- ②学校、家庭、地域の連携や次世代のリーダー育成などにより、児童、生徒の健全育成を進めます。
- ③生涯学習を可能にする確かな学力の定着を図ると共に、個性、能力を伸ばす教育、相手を思いやる「豊かな心」を育み、たくましい体づくりを目指した教育を進めます。
- ④世界的な自然遺産の保全、継承などにより自然の保護をはじめ地域内連携による郷土学習の推進を図り、ふるさとを愛する青少年を育成します。
- ⑤文化の薫るまちづくりを目指し、郷土が生んだ先人の顕彰などにより郷土の歴史を学び、後世へ伝承します。また、数多くの歴史文化資源の保護、育成に取り組み、特色ある地域文化の振興を図ります。
- ⑥本町には、恵まれた自然環境のなかに各種の体験、地域資源発信施設が配置されており、これらの積極的活用により、芸術やスポーツ、学習について、世代間、地域間交流を深め、豊かな人間形成を進めます。
- ⑦子どもから高齢者まですべての人が自己実現できる社会づくりを進め、図書館の活用をはじめ、スローライフの考え方による公民館活動等も含めたゆとりや個性、ころの豊かさ、生きる力を重視した教育、学習活動を進めます。



国重要無形民俗文化財「但馬久谷の菖蒲綱引き」

(4) 豊かな地域産業づくり

- ①第1次、第2次、第3次産業間の有機的な連携、一体化により、産業構造の強化を図ると共に、伝統産業技術の後継者育成の支援や企業誘致を進め、雇用の安定、創出に努めます。
- ②朝市や学校給食などでの地産地消の取り組みをはじめ安全、安心な農林水産物の供給体制の整備や高付加価値化等の促進を図ると共に、農地、農道などの生産基盤整備や森林の公益的機能の保全、林業の生産性の向上に努めるなかで、資源を再利用した有機肥料の活用など、地域内連携による資源循環型の生産活動を展開します。
- ③産業の活性化を目指し、これまで集積してきた各分野の技術や特色を生かし、個性、独創性のある農林水産物や加工製造品の生産拡大を図ると共に、商業、観光関連産業などとの連携を強化し、地域内の経済波及効果を高めます。
- ④地場産業の育成と合わせて、多彩な資源を融合した特産品開発、環境、福祉、情報に関わる産業活動など地域社会に貢献する新しい分野の起業の支援を進めます。
- ⑤各産業の後継者確保や担い手の育成、若者の定住促進を目指し、雇用対策の充実、都市部の団塊の世代をはじめとしたU・Iターン受け入れ体制の拡充を図ります。
- ⑥これまでの観光産業を充実させていくと共に、山陰海岸国立公園の遺産的価値を再確認し、これまでの取り組み実績、継続的な活動、教育やツーリズム環境の整備、地域間の連携などを情報発信する取り組みを進めます。
- ⑦地域に埋もれた人材を発掘すると共に、住民のもてなしの心などによって地域資源にさらに魅力を持たせ、海と山と温泉のツーリズム資源と融合させるなど多彩なスタイルによる交流を創造し、浜坂駅をまちの玄関口とした来訪者の増加するまちづくりを進めます。

⑧交流型観光を推進するため、健康志向などの近年の観光客のニーズに対応し、住民一人ひとりがわがまちに誇りを持って対応できることを基本に取り組みを進めます。

⑨地域産業を活性化するまちづくりを目指し、商店街の活性化や地場産業の振興をはじめ、事業意欲に富んだ地元の事業所や事業者の新事業への挑戦や新分野への進出などの支援による産業づくりにより、地域の特性を生かした商工業を進めます。

但馬牛まつり→

浜坂みなとカニ祭り↓



全日本かくれんぼ大会↑

び〜ちふえすた「ビーチバレー」↑

(5) 住みたくなる環境づくり

- ①国土保全、水源かん養、生態系維持など、多面的な機能を有している森林、里山、農地、河川、海岸域などの環境保全に努めます。
- ②上山高原をはじめとした森林、河川沿いの谷筋に広がる農地や集落で形成する田園、港町や旧街道沿いの町並み、海辺の空間など、町の魅力の基本となる多様な景観を有しています。こうした景観を基盤に、良好で快適な生活環境を維持し高めることに努めます。
- ③浜坂地区中心市街地南部地域の活用をはじめ中心市街地の活性化と土地区画整理など秩序ある土地利用を進めます。
- ④海、山、高原、温泉などの豊かな自然の価値を見直し守り育てながら、個性と特色ある地域の優れた特性を生かした均衡ある発展を図るため、浜坂・温泉両地域のふるさと核を拠点として機能性の高い都市基盤づくりを進めます。
- ⑤空港、鉄道、バスなどの公共交通機関の利便性を向上させると共に、防雪、災害防除などの安全施設の整備と拡幅改良により、誰もが安心して利用できる道路整備を進めます。また、地域情報基盤の整備充実を図ります。
- ⑥住民生活の利便性、快適性の向上に努め、良質な水道水の安定供給や生活排水処理対策のために上・下水道の適正な維持管理、運営に努めます。
- ⑦環境にやさしいまちづくりを目指し、美化、自然保護活動の推進をはじめ、資源やエネルギーの節減・再利用、廃棄物の減量化・再資源化などにより、循環型社会づくりを進めます。



新温泉町

新温泉町総合計画（概要版）

発行／兵庫県新温泉町

〒 669-6792 兵庫県美方郡新温泉町浜坂 2673-1

T E L （0796） 82-3111（代） F A X （0796） 82-3054

U R L <http://www.town.shinonsen.hyogo.jp>